

バラク・オバマ米次期政権の対外政策

高畑 昭男
産経新聞

- ◆ 基本姿勢： 民主党版「強いアメリカ」の再生
 - 「アメリカだけでは21世紀型脅威に対処できず、世界もアメリカなしでは対処できない」
 - 世界秩序：「アメリカの時代はまだ終わっていない」
 - FDR、トルーマン、ケネディの「基本的洞察」の復活の必要
 - ▽ 「4つの自由」(FDR)
 - ▽ 冷戦戦略+欧州復興支援(トルーマン)
 - ▽ 軍事ドクトリン近代化と平和部隊(ケネディ)
 - 自衛と国益のためには、単独の軍事力行使も辞さない
 - 世界の安定の公共財としての軍事力行使

- ◆ イラク撤退

- ◆ テロとの戦いとアフガニスタン

- ◆ 中東和平、イラン問題

- ◆ 米軍事力の再活性化

- ◆ 核不拡散

- ◆ 同盟・パートナーシップ関係

- ◆ 大国間関係の管理(ロシア、中国など)

- ◆ グローバル・イシューと「公正、安全、民主的な社会構築」

- ◆ 外交・安保チームの陣容
 - 「クリントン第3期政権」的布陣となるのか、「オバマ型」を形成できるのか？